

おすすめの絵本

この絵本が思い浮かびます



ルドヴィッヒ・ペーメルマンズ作/画 (福音館書店)

さくら新聞

～笑顔de共育で～



令和6年9月1日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町7-25-45
TEL 3997-0070
FAX 3997-0972



月の主題：思い切り身体を動かそう

保育のねらい：

- ・生活習慣を整え、元気に過ごす
- ・身体を動かして遊ぶ楽しさを味わう

オリンピックとパラリンピック



7/26 から 8/11 に行われたパリオリンピック、そして8/28 から始まったパリパラリンピック。コロナの制限がとれ、選手と観客が一体となったスポーツの祭典に向け、5歳児クラスの子どもたちが積み木でエッフェル塔を作り、オリンピックの雰囲気を楽しんでいます。(やしぐみだより参照)



オリンピックは、スポーツを通して、「体と心をきたえよう」「世界のいろんな国の人と交流しよう」そして「平和な社会を築いていこう」といった思いが込められています。オリンピックの五輪のマークは世界五大陸（アジア・ヨーロッパ・アフリカ・南北アメリカ・オセアニア）が表現されています。色にも意味があって「青」「黄」「黒」「緑」「赤」の5色に、旗の地の白を加えた6色があれば、世界の国々の国旗がほとんど描けることから、世界の人々が力を合わせ、強く結びつくことを表しているそうです。

例年以上の猛暑続きの日々で、戸外で身体を動かすのが難しい夏でしたが、オリンピックをとおして、スポーツの楽しさ、お互いの健闘を認め合う姿、たくさんの刺激もらった子ども達です。9月、まだまだ残暑の厳しい日もあるかと思いますが、引き続き熱中症対策をしながら、子どもたちと、身体を動かして遊ぶ楽しさを味わってまいります。また、10/26(土)には大泉中学校の体育館で幼児クラスの親子で、身体を動かして楽しめるうんどう会を計画してまいります。どうぞ、お楽しみに… (文責：有馬聡子)



9月 行事予定

日	曜日	内容
2	月	総合防災訓練 (*別紙参照)
3	火	身体計測(乳児) 入園見学会
4	水	身体計測(幼児)
10	火	おはなし会
11	水	アートくらぶ(5歳児クラス)
12	木	アートくらぶ(4歳児クラス)
14	土	教育委員会一斉防災訓練
17	火	十五夜 ニコニコフォト
18	水	0歳児健診

十五夜



旧暦の8月15日の夜(十五夜)に見える月を「中秋の名月」と呼び、今年は9月17日がその日にあたります。5歳児クラスの子どもたちが、お団子を作り、秋の七草や果物を飾ってくれる予定です。



練馬区教育委員会一斉防災訓練 9/14(土)

区立の保育園、幼稚園、小中学校、学童クラブで一斉に防災訓練を実施いたします。保育園連絡メールを配信します。

***もしもに備えて、常に引き取りカードを携帯ください。**

- ・絵本貸出(全園児)
貸出日：木曜日 返却日：月曜日
- ・ゲーム貸出(5歳児クラス・在園児の兄弟)
→貸出：毎週(水)(木)(金) 返却：(火)
- ・三原台中学職場体験：9/18、19

防災 特集



～子どもたちの安全のために～



家庭での備え

- いざという時に備え避難場所の確認や非常持ち出し袋を用意しておく
- 中身は一人で持ち出せる最低限のものを入れる
- 一年に一度は必ず点検し、電池やミネラルウォーター、缶詰など古くなっていけば新しいものと交換する
- 災害直後には持ち出せなくても後々使用できるように水やインスタント食品を別にストックしておくことなど準備しておくで安心ですね。

大地震では、家具や家電の転倒による被害も多く報告されています。不安定な家具、危険なものがないかなど、この機会にぜひ一度、家の内外の点検を行ってみてはいかがでしょうか。

また、災害時は不安や環境の大きな変化から、子どもが強いストレスを感じてしまう事もあります。

お気に入りのおもちゃや人形、絵本など子どもがホッとできるものがあると、心の安定に役立ちます。



避難訓練

災害時に備え、保育園では毎月一回子どもたちと共に避難訓練を実施しています。水害訓練や延長保育時、散歩先での地震や予告なしの訓練等々、様々な時間帯の災害を想定し、避難訓練を実施しています。(裏面の年間計画表をご参照下さい)さらに、毎年一回、大規模な災害を想定し引き取りカードを使用して引き渡し訓練も実施しています

子どもたちの安全な避難誘導と初期消火と通報訓練の内容は毎回取り入れています

安全点検

乳幼児期の子どもたちは、事故を起こしやすいだけでなく自ら回避することはなかなか困難です。

そのため、保育園では日常的に安全点検を行っています。

また毎月、その月の怪我や、ヒヤリハットについて検証して、対応策について話し合いをしています。

保育園での備え

災害の備えとして、保育室には人数分の園児用防災頭巾と職員用のヘルメットを常備しています。防災頭巾の場所は、災害時、誰でもすぐに置き場がわかるよう、保育室の中に \oplus のマークで表示しています。

さらに、園児の安全を守るため、安心して生活できるように毎日、園庭遊具・保育室の玩具や備品の点検を行っています。

いつ、どのような時間帯に災害が発生するか誰もわかりません。職員はまずは子どもたちの生命保持を第一に考えますが、一人でできることは限られます。その時に重要になるのはチームワークです。日々のコミュニケーションを重ねて、信頼関係をつくっています。

備蓄品

保育園では、災害時の備えとして3回分の食糧と水、おやつ一回分を備蓄しています。

簡易トイレやロープ・軍手・救急セット・懐中電灯・ラジオ・紙おむつ等は、おひさま前のコンテナボックス等で管理しています

食糧や水等の食品関係は調理室の備蓄倉庫で管理しています。



防犯訓練

不審者侵入に備えて年に2回防犯訓練を実施しています。

訓練では様々な状況を想定して、不審者への対応、子どもの誘導大人の伝達方法等毎回振り返りを行い改善点を話し合っています。



今月は、『防災特集』として避難訓練や防災、防犯など園児の安全について、日頃、保育園で取り組んでいることをお伝えしたいと思います。

南海トラフ地震震臨時情報も発表されました。注意の呼びかけは終了しましたが、引き続き注意は必要です。日頃の備えの中に「災害時引き取りカード」の携帯を必ずお願い致します。お子さんを安全にそして迅速に保護者に引き渡す為に必要です。ご確認お願いします。

防災の日

9月1日の「防災の日」は大正12年、この日に起きた関東大震災の教訓を忘れない。という意味と、暦の上では二十日に当たり、この時期に多い台風への心構えの意味も含めて昭和35年に制定されました。



石神井町さくら保育園の備蓄食品と防災用品のリストをご紹介します

NO	品名	数量
1	保存水 (20)	162 本
2	アルファ米 (1箱 50食)	
	〃 わかめ	3 箱
	〃 白米	4 箱
3	白がゆ (250g)	11 袋
4	ミルク缶	1 缶
5	ツナ缶 (140g)	69 缶
6	スティックチーズ	126 本
7	クラッカー (1缶 75g)	72 缶
	ライスクッキー (8枚)	4 缶
※	哺乳瓶	20 本
※	卓上コンロ	3 台

NO	品名	NO	品名
1	園旗 (オレンジ)	15	布ガム・セロハンテープ
2	ハンドマイク	16	非常用壁掛け懐中電灯
3	携帯ラジオ	17	おんぶひも
4	ワンセグTV	18	さらし
5	使い捨て手袋	19	簡易タンカ用シート
6	LEDランタン	20	タオル・石鹸
7	ラップ	21	ブルーシート
8	ペーパータオル	22	ビニール袋
9	マスク	23	救助用毛布
10	紙おむつ	24	予備電池
11	簡易トイレ	25	針・糸・はさみ
12	ロープ・軍手	26	ブルーシート
13	トイレトペーパー	※	救急用品一式
14	ティッシュペーパー	※	事務用品一式

避難訓練 年間計画

ねらい			
月	想定	ねらい	訓練の内容
		1 災害の恐ろしさを知り、冷静かつ敏速に避難させる態度や心構えを養う。 2 事故の発生を未然に防ぐため、避難訓練の徹底、防犯設備の点検等防災対策の確立を図る。 3 非常事態発生時には、適切な避難の方法により、園児の安全を確保し、状況によっては搬出保護にあたる。 4 常に情報の収集や安全点検に心を配り、計画的な実施訓練を積み重ね緊急時の対応を身につける。	
4	地震 ベルの音を聞く	◆避難訓練の計画、方法、約束等職員で話し合って徹底する ◆各保育室の防災グッズの場所を表示する・ベルの音を聞く	・各クラスの安全点検、安全箇所の確保、避難経路の徹底、放送設備の操作方法及び、散歩コースの確認 ・非常ベルを鳴らす
5	地震	◆指示を受けて行動する大切さを知らせる ・ベルの音を聞き保育士の元に来る	・ベルの音を聞き安全な場所に避難する ・災害の怖さを知らせると共に、避難する時は「押さない、駆けない、喋らない、戻らない」の約束をする (おかしも)
	水害訓練	◆情報班が速やかに情報収集を行う ・安全な場所へ避難する	・園舎前の水道管が破裂し、道路の水が想定浸水深 1m以上を想定して実施 ・情報から適切な判断、指示を行い避難する
6	火災 通報訓練	・指示を聞き、落ち着いて避難する	・火災発生時に、発生場所を考慮して適切な避難行動をとれるようにする
7	延長保育時の火災 通報訓練	・担任以外の保育士との避難訓練を経験する	・合同保育のため、安全確認、人数把握をしっかりとしてから避難する
8	地震	・人数把握を確実にを行い、安全に避難する	・降園時間の人数把握を確実にを行い、安全に避難する。
9	総合防災訓練	・指示に従って安全確保、防護措置を行い、適切な災害対策と防災意識の高揚を図る	・指示を受けてから保護の仕方、人数報告の仕方を学ぶ ・引取訓練を行い名簿の記録の仕方を学ぶ ・通報訓練、応急救護訓練、消化訓練 ・非常用常備品、防災設備の点検を行う
10	地震→火災 通報訓練	・第二避難訓練場所へ安全に避難する	・指示に従い、避難経路を確保し、安全に石神井中学校まで避難する ・人数把握を名簿で確認する
11	火災 消防教室 消火訓練	・消防士の指導により、避難する方法を学ぶ ・初期消火訓練の大切さを知る	・安全な避難の仕方を学び、実践する ・消火器の使い方を知る
12	散歩先での訓練 地震	・園舎外に出ている時の避難方法を知る	・園舎外で安全な場所を選んで避難させ、近くの電話または携帯電話を使って、保育園に園児、職員数、居場所、状況などを報告する
1	予告なしの訓練 地震→火災 通報訓練	・寝ている時の安全確保と敏速な避難方法を身につける	・安全確保、人数確認、眠りから覚めた時の子どもの状態を把握し避難させる
2	予告なしの訓練 火災 通報訓練	・火災の避難方法を知る	・火災を知らせ、煙から身を守り、安全に避難誘導する ・初期消火を行う
3	予告なしの訓練 地震・年間反省	・指示を聞き落ち着いて避難する	・指示に従い、避難経路を確保し、安全に避難させる ・年間を反省し、次年度の参考にする

9月1日は防災の日、8月30日～9月5日は防災週間です。

8月には南海トラフ臨時情報が発表されるなど、巨大地震が発生する恐れが高まっています。過去の地震の際には、災害発生からライフライン復旧まで1週間以上かかるケースが多く見られたことから、食品がうまく手に入らないことが予想されます。いつ起こるかわからない巨大地震に備えて、災害用非常食のほかにも、ローリングストックなどの日常でも使える備蓄食品の準備をしましょう。



キッチン



文責
野村 佐藤
七穂 志織

～備蓄の目安～

家族の人数×最低**3**日分、できれば**7**日分、
要配慮者（乳幼児、高齢者、食物アレルギーの方、慢性疾患の方など）がいる家庭では、
2週間分 備蓄することが望ましいとされています。

家庭備蓄！

使いながら災害に備える

ローリングストックの例 ～7日分～

必需品

【飲料水・調理水】
1人1日およそ3ℓ程度



【カセットコンロ・カセットボンベ】
1人1週間およそ6本程度
（ガスは1本で約10分使えます）



主食 エネルギー炭水化物

【お米】1人1週間9食程度 【乾麺】1人1週間9食程度
・白米
・レトルト粥
・パックごはん
・そうめん
・うどん
・パスタ



【インスタント麺類】
・ラーメン、うどんやそばのカップ麺など



【その他】適宜購入
・シリアル ・コーンフレーク ・オートミール

副菜 その他

【日持ちする野菜類】
・たまねぎ
・じゃが芋



【インスタント食品】
・カップみそ汁
・即席スープ



【乾物類】
・梅干し
・海苔
・乾燥わかめ
・ふりかけ



【調味料】
・砂糖
・塩
・しょうゆ
・めんつゆ 等々



【ジュース類】
・野菜ジュース
・トマトジュース
・果汁ジュース



【缶詰】
・コーン缶
・フルーツ缶
・トマト缶



【好きな物】
・チョコレートなどのお菓子や飲み物



赤ちゃんのいるご家庭

お湯を沸かせない場合や、哺乳瓶を消毒出来ない時に備えて、液体ミルクや使い捨て哺乳瓶や紙コップ、スプーンなどを用意すると良いです。

また、レトルトの離乳食を購入しておき、日頃から試す日を設けて食べ慣れておくと、いざという時に、お子さんも保護者の方も安心です。

食物アレルギーのお子さんがあるご家庭

備蓄品にアレルゲンが含まれていないかをチェックし、食べられる食品をピックアップして備蓄していきましょう

9月17日 十五夜のお楽しみランチ

秋の収穫をお祝いする気持ちを込めてお赤飯の献立にしました。そして、十五夜といえば「うさぎ」ですね。かわいらしいうさぎがあちこちにいる！?目で見て楽しい内容になっています。

おひる 大根ときゅうりの昆布漬け



栗入り赤飯

鶏つみれのみそ汁

おやつ



お月様蒸しパン

毎年、総合防災訓練の日に子どもたちにアルファ化米の紹介と調理実演を行ってきましたが、今年は各地での災害の影響により備蓄米の入れ替え時期がずれる為、10月頃、アルファ化米の調理実演と提供を予定しています。

参考資料

- ・要配慮者のための災害時に備えた食品ストックガイド 農林水産省
- ・はじめよう！おうちでローリングストック 家庭備蓄のすすめ 農林水産省
- ・災害時における乳幼児の栄養支援の手引き（2019年）公益社団法人日本栄養士会 日本栄養士会災害支援チーム

9月9日は「救急の日」です

救急箱の点検や、事故やケガを防ぐために
気をつけることをご家庭でも話してみてください



防災意識が高まる9月です。災害は怖いですが、身近な生活の中にも子どもにとっては危険な物がたくさんあります。保護者にとって、子どもを危険から守って育てる緊張感は計り知れないものです。この機会にお子さんの成長に合わせて、家の中を見直してみてください。

保健

文責 佐々木 優子



子どもにとって安心して過ごせるのは家の中ですが、実は0~6歳の子どもの事故の約40%は家の中で起こっています。小さな子どもは、まだ何が危険かを予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らず。大人が安全で安心な環境を整えてあげましょう。

子どもの救急搬送の1位は「落ちる事故」

もしソファが窓際になかったら？
「目を離さない」の前に、危険い所を変えましょう！



子どもは5cmの水でも溺れます

ドラマなどで溺れるシーンは「わあわあ」と騒いでいますが、実際には溺れる時には静かに沈んでいくそうです。「なんか目を開けたまま潜っている？」と気が付いた時には、すでに溺れている状態です。

すぐに水から引きあげ、意識を確認しましょう。



誤飲の危険なもの

加熱式たばこ その場で口の中に残っているたばこをかき出し、出来れば吐かせる。牛乳など水分を飲ませない。



おもちゃによく使われています

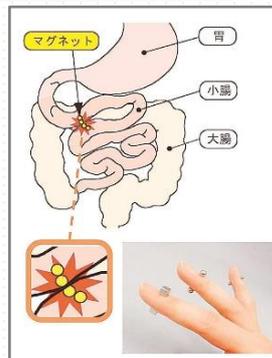
ボタン電池

短時間で消化管に潰瘍や穴をあける

強力マグネット

腸を挟んでくっつき、炎症を起こして腸に穴を開けてしまう

→すぐに病院へ！



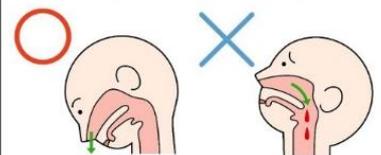
ほかにも・・・！

炊飯器でのやけど

樹脂製の折りたたみ踏み台で指を挟む

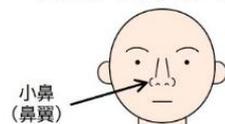


姿勢は必ず「下向き」



上を向いたり仰向けになると鼻血がのどへ流れ込んで危険！

圧迫する部位は「小鼻」



こんなときは・・・？ 《鼻血がでた！》

- 子どもは鼻炎や風邪症状で鼻に違和感があると、鼻をかまずにこすったりほじったりしてしまうため鼻粘膜が傷つき出血します。
- 風邪症状は鼻の粘膜が炎症するため、少しの刺激で出血してしまいます。
- 温度変化や運動時の血圧上昇、夏場ののぼせ、興奮時などでも鼻から出血することがあります。

子どもの鼻血の多くは適切に処置をすれば30分以内に治まります。30分経っても止まらない時や、次のようなときは早めに受診しましょう。

- 顔色が悪い
- 洗面器いっぱいほどの出血量
- 反応が鈍い
- 鼻の変形
- 数時間後や数日後に繰り返し出血する



5分~10分
指甲さえる

くるくるリユース会

のお知らせ



皆様のご協力でもっと盛り上がった くるくるリユース会 第2回目を開催します

- ・回収期間：10月1日(火)～10月9日(水)
玄関に回収箱を用意しますので入れてください
- ・お持ち帰り期間：10月15日(火)～10月25日(金)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		回収期間				
6	7	8	9	10	11	12
			最終日			
13	14	15	16	17	18	19
		お持ち帰り期間				
20	21	22	23	24	25	26
					最終日	

10月1日から集めるもの



- 子ども用衣類(夏服・冬服は問いません・ロンパース可です)
- 子ども用外靴、上履き(まだ履くことができるもの)
- 未使用又は未使用に近いタオル(バスタオルの大きさまで)

*下着、靴下は回収いたしません

てぶくろやぼうし等
冬小物も集めます